

能楽の奥深さ知る

福山市老人大学が特別講座



大島さんの「羽衣」に聞き入る受講生（福山市光南町の大島能楽堂で）

能楽についての理解を深めようと、福山市地吹町、

市老人大学は、同市光南町の喜多流大島能楽堂で特別

講座を実施。教養講座の受講生約170人が、能の歴史や謡、囃子などを学んだ。

喜多流大島家の能楽師、大島衣恵さん(33)らが講師を務め、武士は能を通じて集中力を高めていたことや、能舞台と楽屋を結ぶ橋掛りの前に大きさの異なる松を並べて、奥行きを表していることを紹介。天女が登場する能「羽衣」の一部を演じた。

受講生らは発声法を教わり、大島さんの後に続いて「羽衣」を謡ったり、代表の3人が足袋に履き替えて

能舞台に上がり、小鼓の手ほどきを受けたりした。笛や舞についての説明もあり、最後に大島さんらが再び「羽衣」を舞うと、会場からは大きな拍手が起こった。

同市御門町、無職大本誠一さん(68)は「福山にも伝統文化が根付いているのに感心したし、大変勉強になった」と話した。

back

08/05/27 読売新聞